

中川町立中川中学校

【総合的な学習の時間】

■ 地域人材・地域施設を活用した地域体験学習

★活動に関連する目指す子ども像

「ふるさとを愛し、自ら学習しようとする生徒」

□ 活動の概要



地域の産業の変遷について学ぶ探究的な学習を通して、ふるさとの良さや魅力に気づき、地域への愛着と誇りを深めることをねらいとして、第1学年の総合的な学習の時間に、地域資源や人材等を活用した地域体験学習を実施しています。

□ 活動の具体

- ・中川町の昔の主幹産業であった「薄荷栽培」と、現在町おこしの中心となっている「化石」について、地域の人材や施設を活用した体験活動を中心に学習しています。
- ・町内施設において、乾燥させた薄荷の葉を蒸留し、薄荷油を抽出する体験活動を行っています。また、同施設内で、化石や展示資料の見学及び化石のクリーニングを体験する学習を行っています。

□ 教育課程上の工夫

- ・総合的な学習の時間の「ふるさと学習」において、第1学年では「中川町」、第2学年では姉妹町村である「長野県中川村」、第3学年では「函館市」について学習することにより、中川町と比較しながら、地域への愛着と誇りを深められるように指導計画を立てています。
- ・第2学年で、長野県中川村の中学生と郷土料理の調理や方言かるたを体験するなど、中川町との違いを実感し、ふるさとの特徴を理解できるようにしています。